

福島原発事故の記憶と検証

双葉町・富岡町・いわき市を訪ねる

2022年 11月 26・27日（土・日）

集合：11月26日（土）13：15 双葉駅・改札口（JR常磐線）

※13：18双葉駅発のバスに乗ります。

解散：11月27日（日）17：00 富岡駅（JR常磐線）

東日本大震災と福島原発事故から10年目を迎えた2021年頃から、福島県浜通りには、さまざまなアーカイブ施設が誕生しました。今回の「現場を訪ねる」では、それら浜通りのアーカイブ3か所を見学し、避難指示が解除され、帰還がはじまった双葉町と富岡町の現場を歩きます。

一人ひとりが何を記憶し、どう検証・記録していくべきなのかを現地を一緒に歩き・考え・語り合いたいと思います。

◆主な訪問先

- ・東日本大震災・原子力災害伝承館（26日）
- ・原子力災害考証館 furusato（27日）
案内：里見喜生さん（古滝屋館主）
- ・とみおかアーカイブ・ミュージアム（27日）
案内：吉野高光さん（学芸員）
- ・双葉駅（26日）、夜ノ森駅（27日）周辺を歩く

◆宿泊

旅館・古滝屋（いわき市常磐湯本町三函 208、湯本駅歩8分
電話：0246-43-2191）

◆参加費 20,000円（宿泊費、夕・朝・昼食費、タクシー代、入館料、保険代）

※現地までの交通費等（裏面参照）は、各自負担。

◆定員：15人（要事前申込み）

※申込み締切11月10日、多数の場合は会員優先&抽選

◆主催・申込み先：

ネットワーク・市民アーカイブ

tel・fax：042-396-2430

E-mail：info@archive-tama.sakura.ne.jp

集合場所までの交通機関（各自負担）※参考情報のため、ご自身で確認ください。

【行き】①JR特急 7,390円（乗車券4,840円、特急券2,550円）

9:53 東京駅発 特急ひたち7号
12:07 いわき駅着
12:14 いわき駅発常磐線 各駅停車
13:11 双葉駅着

②JR在来線 4,840円

7:39 東京駅発（西日暮里、土浦、水戸、いわき駅乗り換え）
13:11 双葉駅着

③高速バス 4,790円（高速バス3,900円、JR990円）

9:00 東京駅前高速バス乗り場（八重洲口）発
12:06 いわき駅バスターミナル着
12:14 いわき駅発
13:11 双葉駅着

【帰り】①JR特急 7,060円（乗車券4,510円、特急券2,550円）

17:43 富岡駅発 特急ひたち26号
20:43 東京駅着

②JR在来線 4,510円

17:06 富岡駅発（いわき、勝田、取手駅乗り換え）
21:58 東京駅着

③高速バス 4,450円（高速バス3,900円、JR670円）

17:06 富岡駅発
17:49 いわき駅着
18:00 いわき駅前バスターミナル発
21:33 東京駅バスターミナル着

※26日夕方の双葉駅から宿泊先の湯本駅まで、27日湯本駅から富岡駅も各自負担となります。
※車での現地参加も可能です。

① 東日本大震災・原子力災害伝承館

（福島県双葉郡双葉町）

「未曾有の複合災害を経験し、復興への途を歩んできた福島の記録と記憶を防災・減災の教訓として未来へつないでゆく」ための施設として、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構が、2020年9月20日に開館した。（各自見学）

② 原子力災害考証館 furusato

（福島県いわき市湯本）

2021年3月12日、湯本温泉「古滝屋」内に、古滝屋館主をはじめ、さまざまな市民の共働により、設立された。「展示・思索」「資料アーカイブ」「ネットワーキング」「furusato考証ツアー」という4つの活動を軸に、原子力災害の考証を提案している。

案内：里見喜生さん（古滝屋館主）

③ とみおかアーカイブ・ミュージアム

（福島県双葉郡富岡町）

2021年7月11日にオープンした富岡町の博物館施設。「富岡町を中心に地域の歴史とその特徴を伝える」とともに「震災と原子力災害を歴史の大きな「1ページ」として継承し、町の経験を将来に世界に発信する」ことを施設の目的としている。

案内：吉野高光さん（学芸員）